

資産形成世代
30~40代
の皆さまへ
仕事でもプライベートでも責任が大きくなる年代

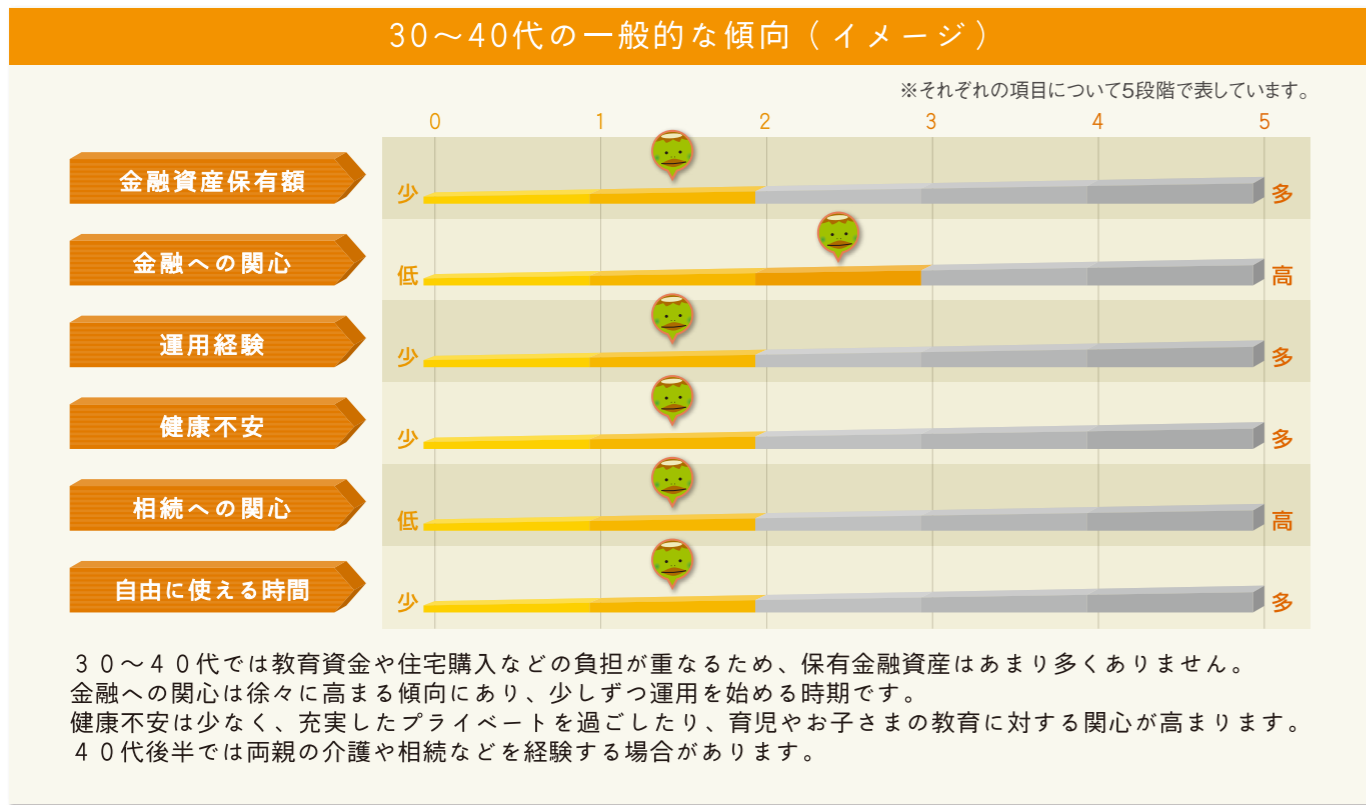
自分自身や大切な家族のために、しっかりと準備しましょう。

仕事ではキャリアアップしながら、プライベートでは結婚、お子さまの誕生や進学、マイホームの購入など、さまざまなイベントが重なる年代。計画的に準備することで、ゆとりを持って生活できます。



Question

1. お子さまの教育や進路についてどのようにお考えですか？
2. 60歳のときに金融資産がどれくらいあれば安心ですか？
3. お住まいについてどのように計画されていますか？
4. 万一の備えとしてどのような準備をされていますか？

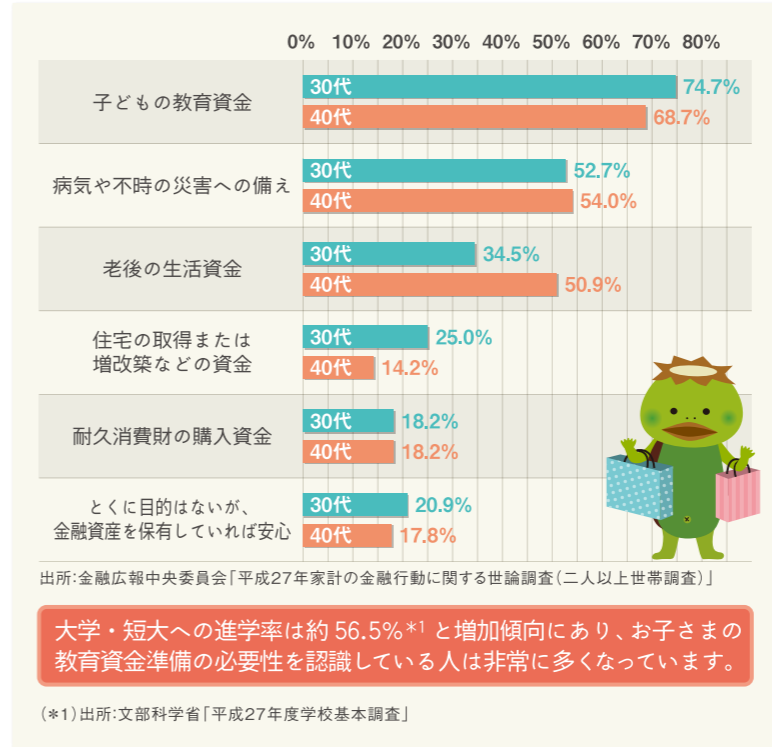


ちゅうぎんは、お客さまの「ライフプラン」や「リスクへの準備」を一緒に考えます。

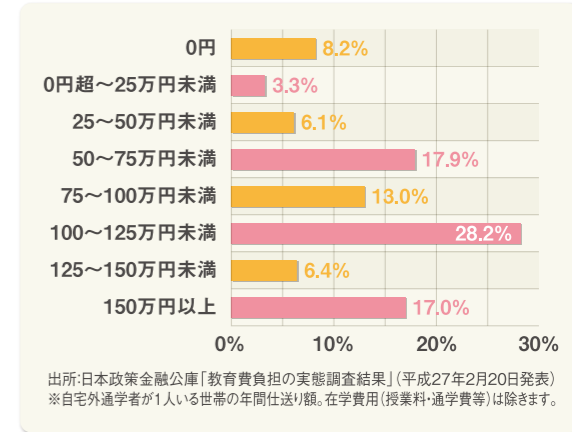
大切なお子さまの「教育資金」のために

お子さまが小さいうちから教育資金を準備し、将来の進学に備えましょう。

30代・40代の金融資産の保有目的（上位6項目、3つまでの複数回答）



自宅外通学者への仕送り額（年間）



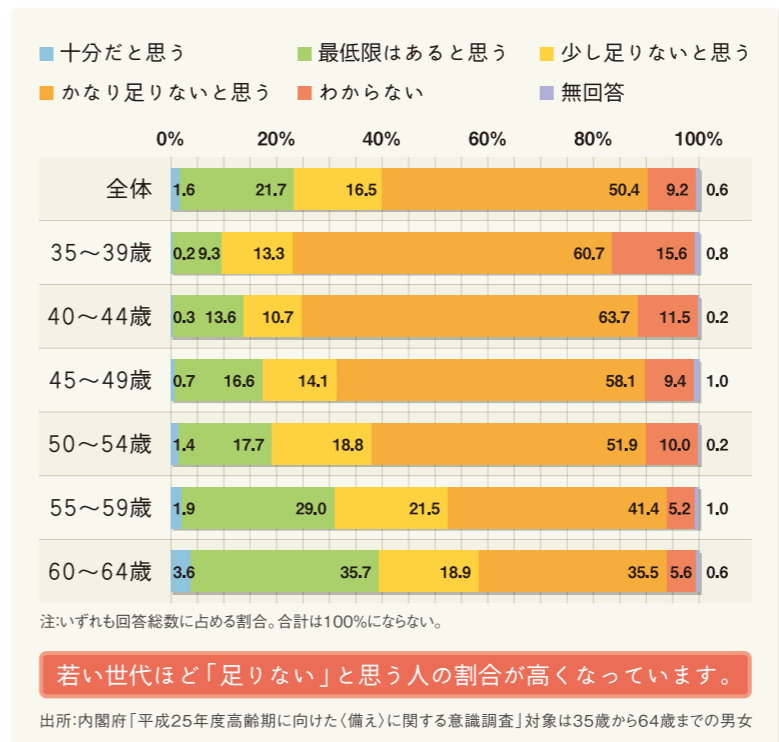
ちゅうぎんからのご案内

- 自動送金サービス
 - 晴ればれ学割プラン（晴れの国支店）
- 保険商品
 - 学資保険
 - 個人年金保険
- ローン
 - 教育ローン
- 専用口座
 - 教育資金専用口座

「セカンドライフ」に向けて経済的な備えを検討しましょう

退職後もゆとりのあるセカンドライフを過ごす為に、長期的な貯蓄計画を家族で検討しましょう。

高齢期への経済的な備えについて



老後生活費

最低日常生活費 平均22.0万円/月（夫婦二人）
出所：公益財団法人生命保険文化センター「平成27年度生活保障に関する調査」

ゆとりある老後生活費 平均34.9万円/月（夫婦二人）
出所：公益財団法人生命保険文化センター「平成27年度生活保障に関する調査」

ちゅうぎんからのご案内

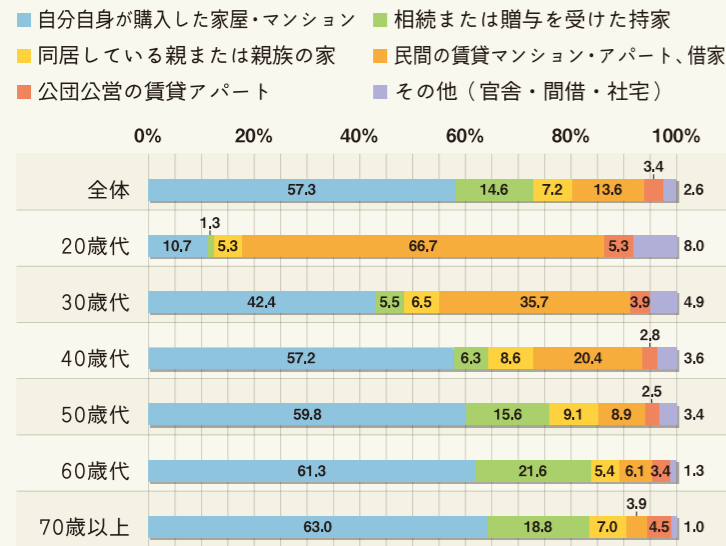
- 貯蓄
 - 定期預金
- 運用商品
 - 外貨預金
 - 公共債
 - 投資信託
 - 一時払生命保険
- 制度
 - 確定拠出年金制度（401k）個人型（iDeCo）、企業型
 - 財形貯蓄制度
 - 少額投資非課税制度（NISA）

将来の「マイホーム」のために

住宅ローンは家計とのバランスを考えて、無理なく返済できるプランを考えましょう。



■持家・非持家の比率（二人以上世帯）



注：いずれも回答総数に占める割合。なお住宅の状況については無回答世帯を除いているため合計は100%にならない。

持家比率（自分自身が購入または相続・贈与を受けた場合は全世代で、71.9%になります。

出所：金融広報中央委員会「平成28年6月家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）」

■住宅ローン返済額の目安

お借入れ金額100万円あたりのお返済額

金利	10年返済	20年返済	30年返済
1.00%	8,760円	4,598円	3,216円
1.20%	8,847円	4,688円	3,309円
1.40%	8,935円	4,779円	3,403円
1.60%	9,023円	4,871円	3,499円
1.80%	9,112円	4,964円	3,596円
2.00%	9,201円	5,058円	3,696円

注：本表のお返済額はあくまで概算です。

ちゅうぎんからのご案内

- ローン
 - 住宅ローン
 - シミュレーション
- 制度
 - 繰上返済制度

「万一の事態」に備えましょう

ご自身やご家族が万一の事態に陥ったときの公的年金制度を確認しましょう。

■遺族年金受給額の目安

- ・自営業世帯の場合、おさまがいないと遺族年金は支給されません。
- ・おさまが全員18歳到達年度の末日を迎えた場合、子の加算額はなくなります。

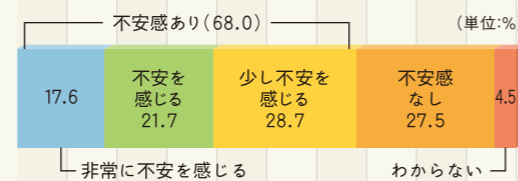
家族構成（妻が受け取る場合）	会社員世帯（厚生年金）	自営業世帯（国民年金）
子どものいる妻の場合	子ども3人の期間 155,416円/月 (遺族基礎年金を含む)	108,658円/月
	子ども2人の期間 149,183円/月 (遺族基礎年金を含む)	102,425円/月
	子ども1人の期間 130,475円/月 (遺族基礎年金を含む)	83,716円/月
子どものいない妻の場合	妻が40歳未満の期間 46,758円/月	なし
	妻が40～64歳の期間 95,516円/月 (中高齢寡婦加算を含む)	なし
	妻が65歳以降の期間 111,766円/月 (妻の老齢基礎年金を含む)	65,008円/月 (妻の老齢基礎年金)

注：①子どもは18歳到達年度の末日までの子どもの他に、20歳未満で1級・2級の障害状態にある子どもを含む。
②「死亡当日、生計を維持されていた」と認められるためには、遺族の年収が850万円未満であることが必要。
③年金額は平成27年度価格。

計算条件
①厚生年金の年金額は本来水準の計算式で計算。
②死亡した会社員の夫の平均標準報酬月額35万円、加入期間を25年(300月)として計算。
③平成15年4月以降は総報酬制の適用を受けるが、ここでは賞与総額が全月収の30%として計算。
④妻は40年間国民年金に加入し、老齢基礎年金を満額受給するものとして計算。
⑤経過の寡婦加算は含まない。

■万一の事態に対する考え方

万一の時の遺族の生活資金に対する不安の有無



出所：公益財団法人生命保険文化センター「平成25年度生活保障に関する調査」

ちゅうぎんからのご案内

- 損害保険
 - 火災保険
 - 海外旅行保険
- 生命保険
 - 家計（収入）保障保険
 - 終身保険
- 入院保険
 - 医療保険
 - がん保険

ライフプランを考えるための4ステップ

まずは現状を把握し、今後のイベントや退職後のこと、不測の事態への備えなどを具体的にチェックしていきましょう。



STEP 1

現状の確認

現在の年収

200万円未満	200～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000万円以上
---------	-------------	---------------	-----------

現在の貯蓄額

200万円未満	200～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000万円以上
---------	-------------	---------------	-----------

毎月の支出

20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40万円以上
--------	-----------	-----------	--------

30代前半の平均給与:392万円
30代後半の平均給与:425万円
40代前半の平均給与:457万円
40代後半の平均給与:487万円
出所:国税庁「平成26年分民間給与実態統計調査」

30代前半の平均支出額:25.7万円/月
30代後半の平均支出額:27.9万円/月
40代前半の平均支出額:30.0万円/月
40代後半の平均支出額:34.7万円/月
出所:総務省統計局「平成26年家計調査(家計収支編)世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯」

30代の平均貯蓄額:666万円
40代の平均貯蓄額:1,024万円
出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編)世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯」

STEP 2

今後の予定

今後のイベント

結婚	マイカー購入	マイホーム購入	お子さまの誕生	お子さまの進学	その他
----	--------	---------	---------	---------	-----

STEP 3

希望(予測)金額

退職金額（希望額）

1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000～3,000万円未満	3,000万円以上
-----------	-----------------	-----------------	-----------

退職時保有金融資産額（退職金を含んだ希望額）

1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000～3,000万円未満	3,000万円以上
-----------	-----------------	-----------------	-----------

公的年金受給額（月額・本人分の希望額）

5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満
15～20万円未満	20～25万円未満	25万円以上

退職給付額の平均額（勤続年数35年以上）
企業規模 30～99人:1,729万円
企業規模1,000人以上:2,417万円
出所:厚生労働省「平成25年就業条件総合調査」

60代の平均貯蓄額:2,402万円
出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編)世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯」

受給額の平均額(65歳～69歳)
国民年金:男性 57,381円、女性 54,420円
厚生年金:男性169,567円、女性104,417円
(※厚生年金額は基礎年金額を含んでいます)
出所:厚生労働省「平成26年度厚生年金保険・国民年金事業年報」
注:国民年金および厚生年金の受給権者がそれぞれ受給している平均年金月額(年齢別)データ

STEP 4

不測の事態への備え

保険を“みえる化”しましょう

加入中の保険の一例 黄色い部分を参考に、ご自身の生命保険加入状況について図を作成してみましょう。